

度は病院によって大きな差があると言わざるを得ない。

したがって、DPC 制度の運用については、正しい診療報酬請求を行うためにも新たな診断群分類の開発を行うためにも、各病院から提出されたデータの検証を適切に行い、データの精度を確保することが必要である。

ただ、冒頭でも述べたように DPC に関わる病院数は激増しており、データの検証作業は多大なる労力を必要とする。このような状況を考える時、各病院から提出されたデータの精度確保、特に正しく傷病名を付与し併せて正しい ICD コーディングがなされているかを検証する手法を確立することは極めて重要な課題である。

我々は特定機能病院等への導入を前にした平成 14 年度の段階において、我々は、「ICD コーディングの留意点」を検討し、データ収集対象病院に提示した後、提出されたデータごとに、主に研究班の班員の目視により検証を行った。引き続き平成 15 年度はデータの増大に対応するために、大量な傷病名と ICD データに対応できる検証する手法の開発とそれを用いた基礎調査における病名の質評価を試みた。

平成 16 年度においては、15 年度の結果を基にして、システム上で大量なデータに対してある程度のレベルまでのチェックを可能とする手法の開発を行い各病院から提出されたデータの検証を実際に各病院に再提出を求めデータ精度の改善を図った。

さらに、平成 15 年度の検証手法を用いて平成 14 年度及び 15 年度のデータを用いて新たに DPC に対応した傷病名マスターの開発を行っているところである。以下、その結果について報告する。

B. 方法：

表 1 に示すように、傷病名にかかる問題は、データベースそのものの問題（データの単純な取り扱い）と思われることから ICD コーディングの問題、さらには「医療資源を最も投入した傷病名」としてその傷病名が適当か否かという問題まで多岐にわたる。

表 1 に例示したような要因を検討した結果、微妙なコーディング以前に、ある程度のエラー要因はグループ分けが可能であり、エラー要因をシステム的に割り出し、さらに、MEDIS の標準病名や ICD 分類名と比較することにより、「不適当傷病名・ICD」をピックアップすることが可能であると考えた。これらの方法を用いることによって、基礎調査データの検証を行うと同時に、平成 14 年度、15 年度のデータから傷病名マスター開発の作業を進めている。

以下にデータチェックの手順（概要）を示す。

1) まず、各病院から提出された、基礎調査データの傷病名と ICD コードのセットに対して以下の作業を行い、データクリーニングを行った。

(1) 各傷病名、各 ICD コードを、クリーニング (Null、空白、不要なスペースの排除)

(2) 後の作業のために ICD、症状名でグループ化したファイルを作成

2) 以下の手順に沿って、システム上でさらに目視にてチェックを加えた。

(1) 傷病名（日本語）が文字化け：文字コード範囲でチェックを実施

(2) 病名がすべて英字・記号で出来ている（日本語が含まれない）：文字コード範囲でチェックを実施

(3) 病名の一部に、英字・記号がある：文字コード範囲でチェックを実施

(4) ICD コードに、全角、小文字がある（仕様上、ICD は 1 バイト文字大文字とされている）、または、“-” の位

置が不正：文字コード範囲でチェックを実施

- (5) 3つ以上の空白を含むものをチェック
 - (6) 誤字(目視)
 - (7) “癌”、“癌疑い”で、C コード以外の存在をチェック
 - (8) 「C」で始まる ICD コードで「癌」以外のチェック（他の表現があるので目視併用）
 - (9) データの桁数が少ないものをチェック：桁数が少ないうち、エラーデータが含まれる可能性が高い
 - (10) 部位のみの病名の存在：Medis の修飾語マスターとチェック
 - (11) 主病名、入院契機病名、医療資源病名を比較した場合、3 病名が同じであるにもかかわらず、ICD コードが不一致のチェック
 - (12) 医療資源病名の ICD が「R」で始まるコードであり、かつ手術をしているデータをチェック
- 3) さらに単純な比較のみでチェックすることが出来ない上記(6)や(8)のような微妙な表現等については、ICD 第2巻等を確認した。
- 4) これらの方針によって、傷病名 (ICD コードを併せて) を、明らかに不適当なデータ、検討を要するデータ、問題のないデータと区分した。
- 5) 以上のチェック作業の他、曖昧な傷病名は ICD コーディングの精度を低下される要因となることをふまえて、システム上のチェックは困難であるが、基本的な問題として「傷病名として適切か否か」ということについて、個別に傷病名の意味も検討した。

※チェック方法の詳細については、資料 1 と

して添付した。

C. 結果と考察：

1. データの検証について：

1) 検証結果を表 2 から表 5 に示した。

2) データ量

表 2 から 5 に示す。

3) エラー発生率

表 2 から 5 に示す。

4) エラー発生原因について

(1) 傷病名表記の問題：

データの精度を確保する上で最も根本的な日本語傷病名の表記について、誤字を取り上げて考えてみると、その発生については、判読出来ない診療記録、もしくは判読出来ない伝票等の介在があって情報伝達がうまくいかない、医学的知識のない担当者による入力とそれが原因となった不正確なデータベース構築、その他ワープロの漢字変換ミス、他がある。

総じて、チェックが全くなされていない、チェックが十分ではないということがその根本的な問題となっている。特に後述するように、調査協力病院のデータ精度については、特定機能病院及び試行的適用病院に比較して明らかに低いので以下の(2)を勘案しつつ、説明会での十分な説明や解説、場合によっては担当者の研修会を別に開催する等の対応が必要であろうと思われる。特に、調査協力病院の多くは説明を受けることなく本調査に参加しているため、調査の意図を含めて十分な理解があったとは言えないのではないかと推察する。

(2) ICD に関する問題：

そもそも ICD の理解や知識が全く不十分な状況でデータを作成したと思われるデータが多数存在する。現状では、各病院のデータ

作成の環境や人材の関与等の状況が不明であるが、少なくとも ICD についてのミスコーディング等については、システム的な問題と人材、教育という両面で考える必要がある。

(3) 病院によってエラーの件数も傾向も異なる問題：

病院ごとのエラーの内容等は、表 4 及び表 5 に示すが、上記（1）、（2）と関連して、特定機能病院、試行的適用病院は、平成 14 年度から基礎調査を経験しており、現手法においてのエラー抽出件数は、合計 2,701 件

（施設当平均 19.2 件）であり、調査協力病院の 18,971 件（平均 234.2 件）と比較して、明らかに少なかった。特定機能病院、試行的適用病院のエラーについてはごく一部の病院を除けば、比較的ばらつきが少ないが、調査協力病院については、ばらつきも大きい。ただ、データベースの構築環境が不明である以上、これは単純に経験の差と片付けられるのかどうか極めて微妙である。

特定機能病院、試行的適用病院については、包括支払を実施していることも鑑み、より詳細に目視によるデータの検証を行っている。システムによる抽出以外に、ICD の特性などを利用した、エラーが疑われるデータの抽出を、システムによるチェックに手動チェックを加え、その後、目視にて、各施設への返却データを作成した。単純なミスのチェックがシステム的に可能になってきたので、今後は、システムによる半形式的なチェックだけではなく、ICD コードと表記病名の不一致（精度）のチェックが重要となると考える。

(4) 改善方策の提案：

この場合、最も有効な方法として、DPC 対応の“ICD 病名マスター”を提供し、今回の手法のようなチェックを行い、外れたものについて、目視のチェックを行うという方法が望ましい方向だと考える。

正しい“ICD 病名マスター”的充実と我々

の作業によって得た、誤字や規則性のあるミスコーディング等をデータベース化した“エラーチェック用マスター”的作成が急務であり、前者については、平成 14 年度及び 15 年度のデータを用いて、マスターの開発を継続している。なお、後者については、マスター開発の作業に関連して、エラー発生事例を把握しチェック用マスターとして活用すべくデータの集積を行っているところである。

(5) データ検証考察のまとめ：

まず、検証の結果から推察されることは、院内のデータベース構築体制の問題である。つまり、傷病名を選択する段階からデータベース化するまでの体制である。医師だけの問題と考えるか、間に translator 的な役割が存在する故の問題なのかはわからないものの、誤字の存在（その間違い方の傾向を含めて）やミスコーディングの間違い方を調査する限りでは、極めて脆弱なデータベース構築体制しかとれない病院が多数あることがわかる。さらに、ICD コーディングだけの問題を取り上げても、そのコーディングのスキルレベルは様々であり、今後の調査を考える時、適切な教育体制が必要になるのではないかと考える。以下、傷病名にかかる問題を以下にまとめる。

i) ルールの徹底（留意点の作成）

各病院に対しては、我々の開発した手法を用いて検証した結果を返却し、データの再提出を求めているが、新に教育も含めて理解を深めて貰う方法を考えなければならない。

ii) 担当者の教育

各調査病院対象の説明会と研修会、さらには、コーディング方法のサポート体制を構築することが必要ではないかと考える。

iii) データ創出環境の調査

現状では、各病院のデータ創出環境は把握されていない。上記、i)、ii)の徹底を図るためにも早急に調査を行うべきであると考える。

える。

また、ルールについての勘違いも明らかにあり、例えば、医療資源を2番目に投入した傷病名は転科等によって発生することを前提としているが、全ての疾患を対象としてピックアップした施設がかなりあると推察される。表4、表5の資源2のデータでわかるとおり、このデータについては、単純に病院による差であり、精度の高いデータを得るためにには、担当者の教育や十分な説明等が必須であることを示している。

2. DPC を意識した時の ICD の問題点について：

DPC を意識した場合、ICD 分類の構造上の問題から、傷病名が曖昧になりそうな要素を検証した。例を表6に示す。

今後の DPC 分類の精緻化や新たな概念の導入に関連するが、既に DPC と ICD との概念の違いから発生する問題は無視出来ないものとなっている。改めて、DPC に対応するために、ICD の拡張の必要性を強調しておきたい。

D. 結論：

傷病名を正しく付与し、正しい ICD コーディングを行うことを困難にしている要因は、表1で示したように、データベースそのものの問題（データの単純な取り扱い）から ICD コーディングの問題、さらにはそもそも適切な傷病名を付与しているのかまで多岐に及ぶ。

言い換えると、正しい ICD コーディングの結果を得るためにには、まず、その傷病名が診療内容と乖離がない適切な傷病名を付与すること、そして、それに対して正しくコーディングをすること、ということになる。

しかし、適切な臨床病名の付与、選択には多くの考え方があり、さらに現状では多くの

ローカルルールも存在することがデータの検証結果からも推察され、問題を複雑にしていることが伺われる。

これらの問題を改善するためには、DPC に準拠した傷病名マスターを利用し、さらに傷病名付与の段階から ICD や DPC を意識した運用方法を浸透させる必要がある。我々の研究成果は必ずやその目的に対して有効であると考える。

E. 健康危険情報

なし

F. 研究発表

- 1) ○阿南誠、秋岡美登恵、上田京子、久富洋子、DPC 導入に伴う ICD コーディングの問題点について（第二報）、第30回日本診療録管理学会、2004年9月16-17日、千葉市
- 2) ○秋岡美登恵、阿南誠、柴田実和子 DPC 導入における診療情報管理士の役割、第30回日本診療録管理学会、2004年9月16-17日、千葉市
- 3) ○久富洋子、阿南誠、秋岡美登恵、上田京子、DPC 導入に伴う大量データの ICD コード検証の方法について、第30回日本診療録管理学会、2004年9月16-17日、千葉市
- 4) ○秋岡美登恵、シンポジウム：DPC に向けて診療情報管理士はどう対処するか「厚労省研究班にてコーディングの適正化に関する研究に参加した立場から」、平成16年度第一回診療情報管理士生涯教育研修会（東京地区）、2004年6月13日、東京都
- 5) ○秋岡美登恵、シンポジウム：DPC に向けて診療情報管理士はどう対処するか「厚労省研究班にてコーディングの適正化に関する研究に参加した立場から」、平成16年度第一回診療情報管理士生涯教育研修会（福岡地区）、2004年7月24日、福岡市

- 6) ○阿南誠、秋岡美登恵、久富洋子、上田京子、ワークショップ：診療データの品質保証と診療情報管理士「DPC 導入におけるデータ検証の立場から」、第 24 回医療情報学連合大会（第 5 回日本医療情報学会学術大会）、2004 年、11 月 27 日、名古屋市
- 7) ○久富洋子、ワークショップ：診療情報管理士のなすべき役割「診療情報管理士への期待 - 医療情報システム開発企業の立場から」、第 24 回医療情報学連合大会（第 5 回日本医療情報学会学術大会）、2004 年、11 月 27 日、名古屋市
- 8) ○久富洋子、シンポジウム：DPC 導入や日常業務の中で ICD コーディングや構造的問題点に迫る～診療情報管理士として、ICD 改定へ現場からの提言～「DPC データを検証する立場での問題点」、平成 17 年度第 13 回診療情報管理士生涯教育研修会（大阪地区）、2005 年 3 月 12 日、大阪市

療、58巻3号、2004年4月

7) ○久富洋子、阿南誠、秋岡美登恵、上田京子、DPC 導入に伴う大量の診断名データの検証について（平成 15 年度厚生労働省政策科学推進事業分担研究班報告から）、診療録管理、投稿中

H. 知的財産権の出願・登録状況

特許取得

なし

実用新案登録

なし

その他

なし

G. 論文発表

- 1) ○阿南誠、秋岡美登恵、久富洋子、我が国の診断群分類（DPC）の概要、そしてどう取り組めばいいのか、医事業務、VOL.11、NO.239、2004年11月
- 2) ○阿南誠、秋岡美登恵、DPC と診療情報管理士の役割、社会保険旬報、2225号、2004年11月
- 3) 阿南誠、診療情報管理からみた DPC、病院、VOL.63、8号、2004年8月
- 4) ○阿南誠、秋岡美登恵、久富洋子、上田京子、診療データの品質保証と診療情報管理士「DPC 導入におけるデータ検証の立場から」、第 24 回医療情報学連合大会（第 5 回日本医療情報学会学術大会）CD 論文集、2004 年 11 月
○久富洋子、診療情報管理士への期待「医療情報システム開発企業の立場から」、第 24 回医療情報学連合大会（第 5 回日本医療情報学会学術大会）CD 論文集、2004 年 11 月
- 6) 紫田実和子、診断群分類で医療はいかに変わるか：データベースを構築する立場から、医

資料1:データチェックの手順

以下に、特定機能病院、試行的適用病院に対して及び調査協力病院に対して行ったデータチェックの方法についてその手順を示す。

なお、特定機能病院、試行的適用病院に対しての方法と調査協力病院に対しての方法とは、実施時期、データを返却する関係から作業時間も異なるので、同一の環境、同一の方法を用いたわけではないことに注意していただきたい。

1. 平成16年度データチェック方法(特定機能病院、試行的適用病院に対して)

1) データクリーニング

- ・各傷病名、各ICDコードを、クリーニング(Null、空白、不要なスペース)
- ・ICD、症状名でグループ化したファイルを作成

2) チェック項目とコメント(マシンチェック→目視)

(1) 病名が文字化け … 文字コード範囲でチェック

- ・調査データの「使用文字範囲」(たとえば、“JIS X 0201”や“JIS X 0208”など)を、定義しておく必要がある。

(2) 病名がすべて英字・記号で出来ている … 文字コード範囲でチェック

- ・略語使用や、ICD コードそのものが、病名として記載されている

(3) 病名の一部に、英字・記号がある

- ・略語の使用、その他意味不明な文字が含まれている、また、不明なシンボル使用の可能性のあるものを抽出し、目視で確認

「薬剤性低AT₃血症」→ D684(後天性凝固因子欠乏症)

「?毛癌」→ C58(胎盤の悪性新生物)

(4) ICD コードに、全角、小文字がある、または、“ー”的位置が不正… 文字コード範囲でチェック

- ・ICD コードに、全角、小文字が含まれること自体、大文字半角に文字変化すれば良いことであるので問題ないが、全角や小文字といった文字が含まれる、医療機関のデータ作成の対する体制に疑問があり、対象施設のデータは注意して精査する必要があると判断。

(5) 3つ以上の空白

- ・文字編集におけるシステムのバグも考えられる。また、併存症、後発症について、1フィールドに複数の病名を入力している場合が、多少存在していた。

(6) 誤字

- ・過去、発生した誤字に関してチェックを行い、さらに、目視で見つかったものを、再チェック。>誤字一覧(表1)参照

(7) “癌”、“癌疑い”で、C コード以外

- ・「癌」に関しては「悪性」扱いとし、「C」で始まる ICD コード以外が付与されている場合、エラーとした
「前立腺癌」→ R630(食欲不振)

「肺癌」 → D136(肺の良性新生物)

(8) 「C」で始まる ICD コードで「癌」以外

- ・「C」で始まる ICD コード以外が付与されているのもかかわらず、「癌」や「悪性」の記載が無い場合、エラーのものが含まれる可能性が高い。

「肺炎」 → C349(気管支または肺の悪性新生物、部位不明)

「慢性腎不全」→ C189(結腸の悪性新生物、部位不明)

(9) 病名の桁数の少ない場合、エラーデータが含まれる可能性が高い

- ・桁数=1(腰、肺など)、桁数=2(外傷、骨腫、筋炎、挫創、肉腫など)

「痙攣」→ A35(その他の破傷風)、G568(上肢のその他の単ニューロパチ<シ>)—

「肉腫」→ C492(下肢の結合組織および軟部組織の悪性新生物、股関節部を含む)

(10) 部位のみの病名の存在 … Medis の修飾語マスタとチェック

- ・病名と修飾語を編集する時点でのバグ、または、ICD2巻の名称そのままの使用などの原因が考えられる。

「S状結腸」→ C187(S状結腸の悪性新生物)

「気管支」→ J40(気管支炎、急性または慢性と明示されないもの)

(11) 主病名、入院契機病名、資源病名を比較した場合、3病名が同じであるにもかかわらず、ICD コードが不一致の場合、再度確認をお願いする

「急性腹症」という病名に対して、下記 ICD が付与されている

主 病 名 : N879(子宮頸(部)の異形成、詳細不明)

入院契機病名: R100(急性腹症)

医療資源病名: K670(クラミジア腹膜炎 (A74.8†))

(12) 医療資源病名のICDが「R」で始まるコードであり、かつ手術をしている場合、確定診断についていないかを再確認を依頼する

「めまい症(R42)」 → 眼内レンズ挿入術

「失神(R55)」 → 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術

3) 上記チェックから選択されたものの目視時、さらに見つかったエラー項目

(1) 病名と ICD コードが、不一致(目視)

「1型糖尿病」 → C109(中咽頭の悪性新生物、部位不明)

「慢性C型肝炎」→ B171(急性C型肝炎)

(2) 病名に詳細情報なしであるのに、詳細な ICD コードの付与(目視)

「頭痛」→ G442(緊張性頭痛)

「貧血」→ D500(失血による鉄欠乏性貧血(慢性))

(3) 詳細な病名表記に対し、詳細不明や部位不明のICDコードを付与(目視)

「右耳介部悪性腫瘍」→ C80(部位の明示されない悪性新生物)

「鼻部骨折」→ T1420(部位不明の骨折、閉鎖性)

(4) 臨床病名でない病名の存在(目視)

「骨盤位」→ O321(骨盤位のための母体ケア)

「シリコンオイル注入眼」→ H598(眼および付属器のその他の処置後障害)

2. 平成16年度データチェック方法(調査協力病院)

1) データクリーニング

- ・各傷病名、各ICDコードを、クリーニング(Null、空白、不要なスペース)
- ・ICD コードに、「変換 ICD」を付与 → 大文字、小文字、全角、半角を区別するため
- ・ICD、変換 ICD、症状名でグループ化したファイルを作成

2) チェック項目とコメント(マシンチェック→目視)

(1) 病名が文字化け … 文字コード範囲でチェック

- ・調査データの「使用文字範囲」(たとえば、“JIS X 0201”や“JIS X 0208”など)を、定義しておく必要がある。

(2) 病名がすべて英字・記号で出来ている … 文字コード範囲でチェック

- ・略語使用や、ICD コードそのものが、病名として記載されている

「ASO」→ I702((四)肢の動脈のアテロームくじゅくく粥状硬化(症))

「AP」→ I208(その他の型の狭心症)、ほか

(3)病名の一部に、英字・記号がある … 文字コード範囲でチェック

- ・略語の使用、その他意味不明な文字が含まれている、また、不明なシンボル使用の可能性のあるものを抽出し、目視で確認

「AM菌症」→ A319(マイコバクテリア感染症、詳細不明)

「ANCA関連血管炎」→ M300(結節性多発(性)動脈炎)

(4)ICD コードに、全角、小文字がある、または、“-”の位置が不正… 文字コード範囲でチェック

- ・ICD コードに、全角、小文字が含まれること自体、大文字半角に文字変化すれば良いことであるので問題ないが、全角や小文字といった文字が含まれる、医療機関のデータ作成の対する体制に疑問があり、対象施設のデータは注意して精査する必要があると判断。

(5)3つ以上の空白

- ・文字編集におけるシステムのバグも考えられ、チェックしたが、今回該当のデータは存在しなかった。ただ、併存症、後発症について、1フィールドに複数の病名を入力している場合が、多少存在していた。

(6)誤字

- ・過去、発生した誤字に関してチェックを行い、さらに、目視で見つかったものを、再チェック。> 誤字一覧(表1)参照

(7)“癌”、“癌疑い”で、C コード以外

- ・「癌」に関しては「悪性」扱いとし、「C」で始まる ICD コード以外が付与されている場合、エラーとした

「右肺腺癌」→ J341(副鼻腔のうく囊胞または粘液のうく囊胞く腫)

「肝細胞癌」→ K220(アカラシア)

(8)「C」で始まる ICD コードで「癌」以外

- ・「C」で始まる ICD コード以外が付与されているのもかかわらず、「癌」や「悪性」の記載が無い場合、エラーのものが含まれる可能性が高い。

(9)病名の桁数の少ない場合、エラーデータが含まれる化膿性が高い

- ・桁数=1(腰、肺など)、桁数=2(外傷、骨腫、筋炎、挫創など)

(10)部位のみの病名の存在 … Medis の修飾語マスタとチェック

- ・病名と修飾語を編集する時点でのバグ、または、ICD2巻の名称そのままの使用などの原因が考えられる。

「子宮内膜」→ C541(子宮内膜の悪性新生物)

「上葉、気管支または肺」→ C341(上葉、気管支または肺の悪性新生物)

(11)ICD 分類名を病名として記載している … ICD 分類マスタとのチェック

「卵管炎および卵巢炎、詳細不明」→ N709

「アルツハイマー(Alzheimer)、詳細不明」→ G309

(12)資源病名が、患者の状態をあらわす「術後」「術後状態」などで終わっている

「膀胱癌の術後」→ C679

「両大腿骨骨折術後」→ S7200

(13)主病名、入院契機病名、資源病名を比較した場合、3病名が同じであるにもかかわらず、ICD コードが不一致の場合、再度確認をお願いする

「化膿性扁桃炎」という病名に対して、下記 ICD が付与されている

主病名 : J350(慢性扁桃炎)

入院契機病名: J351(扁桃肥大)

医療資源病名: J352(アデノイド肥大)

(14)医療資源病名のICD が「R」で始まるコードであり、かつ手術をしている場合、確定診断についていか

を再度確認をお願いする

「不明熱(R509)」→ リンパ節摘出術(長径3cm未満)(K6261)

「多臓器不全(R688)」→ 経皮的冠動脈形成術(K614)

3)上記チェックから選択されたものの目視時、さらに見つかったエラー項目

(1)病名とICDコードが、不一致(目視)

「肺炎」→ H189(角膜の障害、詳細不明)

「うつ血性心不全」→ N189(慢性腎不全、詳細不明)、ほか

(2)病名に詳細情報なしであるのに、詳細なICDコードの付与(目視)

「糖尿病」→ E107(インスリン依存性糖尿病<IDDM> 多発合併症を伴うもの)

「上皮内癌」→ D067(子宮頸(部)のその他の部位の上皮内癌)、ほか

(3)ICDコーディング自体は正しいが、そもそも曖昧な病名表記がみられる(目視)

「カルチノイド」→ C80(部位の明示されない悪性新生物)

「感染症」→ B99(その他および詳細不明の感染症)

(4)臨床病名でない病名の存在(目視)

「膀胱全摘」→ C679(膀胱の悪性新生物、部位不明)

「正常新生児」→ Z380(單胎兒、院内出生)

(5)途中で切れていると思われる病名の存在(目視)

「抗てんかん薬、鎮静・催眠薬および向精神薬による不」→ X41

「乗用車、軽トラック、バンとの衝突により受傷した才」→ V23

(6)病名に、複数の傷病名要素を含む(目視)

「呼吸不全、C型肝炎」→ J969(呼吸不全、詳細不明)

「脱水症、S/O 脳梗塞」→ E86(体液量減少(症))

(7)上記以外の意味不明

「健康診断」→ Z00(愁訴がないまたは診断名の記載がない者の一般検査および診査)

「お321」→ O470(妊娠満37週未満の偽陣痛)

表1.基礎調査のデータとして適切でない傷病名が発生する要因

1)システム上の問題と考えられること

(1)存在しない(ICD)コードがある

(2)文字化け、桁数不適、不要文字の存在等がある

2)データ取扱の根本的問題(チェックがなされていない、不十分)

(1)入力がされていない

(2)誤字、脱字、意味不明文字・用語(本来の傷病名がわからない)がある

3)ICDコーディングの問題

(1)傷病名とICDが一致しない(誤っている)

(2)unspecifiedコード(.9等)が多数存在する

(3)そもそも傷病名として適切でないものが含まれる→ICDの分類名そのまま等

表6. ICDの構造上の問題から発生する問題

傷病名とICDの不一致や存在しないICDの付与等という単純な誤りを除外すると、

1)部位、病理等の記載が詳細なICDコーディングを行うためには十分でないために、結果して意図したような正確なコーディングが出来ない

※ICD的には「unspecified」としてコーディング出来るが、臨床上の差異を表現するためには、事実上、意味のないデータとなることが多い。

2)新生物については、悪性→良性→性状不詳と粒度が著しく下がる(続発性も)

3)悪性リンパ腫、血管腫、リンパ管腫のような全身にわたる疾患の分類(部位を分類出来ない)に対しての臨床現場の認識との乖離

4)妊娠、処置後障害等、正確にコーディングするとかえって粒度が落ちる等の問題点が指摘される。

これらの問題は、いかに精度の高いコーディングをしても解決できないという「DPCを意識した時」のICDコーディングの限界ともいいうべきものである。

表2. データ検証の結果、チェックされた誤字、意味不明傷病名

○誤字データの発生する可能性

1) 判読不能な文字が存在する可能性(記載する側、判読する側、双方の問題)

2) 読解能力の不足と思われること(判読する側の問題)

3) 仮名漢字変換ミス

* いずれにしても、入力者の医学的知識の欠如という要素が著しく関係していると考えられる

正しいと推察される病名表記	様式1傷病名データに存在する誤字と推察される例			
DIC	D1C			
stanford	stanford			
S字	S宇			
TIA	T1A			
WPW	WPN			
アルドステロン	アルデステロン			
アルブミン	アルブシン			
アンギーナ	アンキーナ			
イレウス	イレラス			
インフルエンザ菌	インフルエンザ筋			
ウイルス動脈輪	ウイルス動脈輪			
ウィルス	ウイルウ			
黄疸	黄疽			
ギブス	ギブス			
シェーグレン	シャーグレン			
てんかん	てんかく			
ニューロパチー	ニューロパシー			
バセドウ	バセドウ			
バッドキアリ	バットキアリ			
フィラリア	ファラリア			
ふきぬけ	ふきねけ			
ブルガダ	フルガダ			
ブロック	ブロク			
ペーチェット	ペーチエット			
ヘルペス	ヘルパス			
ポリープ	ポリープ	ポリ一部		
マイコプラズマ	マイコプラスマ			
ミオパチー	ミオパン			
リウマチ性	リチウマチ性			
リンパ腫	リンパ種			
リンパ性白血病	リンパ生白血病			
ろ胞性	3胞性	と胞性	了胞性	ろ胞制
萎縮性	委縮性			
右化膿性	石化膿性			
右水腎症	石水腎症			
運動失調症	運動失調症			
円孔	内孔			
横紋筋	黄紋筋			
黄斑	横斑			
下行大動脈	下降大動脈			
加齢性	加令性	加齡制		
過熱	加熟			
解離性大動脈瘤	乖離性大動脈瘤			
壞疽	壞疽			
外痔核	外痔核			
頸下腺	頸下線			
肝細胞癌	肝細胞症	寒細胞癌		
肝転移	管転移	桿転移		
肝膿瘍	肝膿癌			
貫壁性	貴壁性	貫壁性		

表2. データ検証の結果、チェックされた誤字、意味不明傷病名

○誤字データの発生する可能性

1) 判読不能な文字が存在する可能性(記載する側、判読する側、双方の問題)

2) 読解能力の不足と思われること(判読する側の問題)

3) 假名漢字変換ミス

* いずれにしても、入力者の医学的知識の欠如という要素が著しく関係していると考えられる

正しいと推察される病名表記		様式1傷病名データに存在する誤字と推察される例		
間擦疹	間擦性			
眼瞼	眼陰			
眼窩底	癌窩底			
眼窩底部骨折	眼窩低部骨折			
眼窩内側壁	眼窩内側襞			
機能亢進症	機能充進症			
儀陣痛	儀陣痛			
疑い	従い			
急性	旧性			
急性リンパ性白血病	急性リンパ生白血病			
急性胃腸炎	急性胃腸船			
急性腸炎	急性脹炎	急成腸炎		
狭窄	狭窄			
狭心症	狂心症			
胸水貯留	供水貯留			
胸腺腫	胸線腫			
稽留流産	稽流流産	繁留流産		
繁留脊髄	係留脊髄	稽留背髄		
軽微	軽徵			
頸管無力症	経管無力症			
血管	血冠			
血腫	血種			
血清反応	血性反応			
肩腱板	型腱板	肩腱技	肩腱抜	
原性	源性			
抗リン脂質	抗リン酸脂質			
拘縮	拘宿			
梗塞	硬塞	高速	拘束	
高血圧	抗血圧			
高血圧症	高血圧所	高血症	高血圧圧	
高脂血症	高脂圧症	高指血症		
骨髓性	骨隋性			
骨折	左橈骨々所			
挫滅傷	挫滅傷			
細胞癌	細胞眼			
細胞腫	細胞種			
四微症	四微症			
子宮外妊娠	十字外妊娠			
子宮留膿腫	子宮瘤膿腫			
子宮留膿症	子宮溜膿症	子宮溜膿腫		
子宮頸癌	子宮頭癌			
脂肪腫	脂肪種			
手関節	手間接			
収縮性	收縮性			
十字	十字			
重症妊娠悪阻	重圧妊娠悪阻			
純感覺性	鈍感覺性			
症候群	症候郡	症侯群	疾候群	病候性
上行結腸	条行結腸			
上皮内癌	上皮肉癌			

表2. データ検証の結果、チェックされた誤字、意味不明傷病名

○誤字データの発生する可能性

1)判読不能な文字が存在する可能性(記載する側、判読する側、双方の問題)

2)読解能力の不足と思われること(判読する側の問題)

3)仮名漢字変換ミス

* いずれにしても、入力者の医学的知識の欠如という要素が著しく関係していると考えられる

様式1傷病名データに存在する誤字と推察される例				
正しいと推察される病名表記				
上腕骨外科頸	上腕骨外果頸			
食中毒	食虫毒			
侵入胞状奇胎	浸入奇胎			
心尖部	心突部			
心内膜炎	心因膜炎			
心房細動	心房細胞			
心房粗動	心房租動			
新生物	新性物			
腎孟	腎孟			
腎孟癌	肝孟癌			
陣痛	陳痛			
水腎症	水神症			
水泡	水泡			
水疱性	水頭性			
睡眠時	睡眠的			
髄膜炎	水膜炎			
髄膜腫	髓膜種			
精神	稍神			
尖圭	尖型			
線状	綿状			
腺腫	線腫			
腺腫様	線種様			
前立腺	前立線			
全身型	全新型			
鼠径	鼠経			
創し開	創し聞			
増悪	憎悪			
足関節	足間節			
損傷	損症			
多源性	多原性			
多動性	双動性			
帯状疱疹	帯状庖疹			
胎盤障害	胎盤傷害			
単核性	覚核性			
胆石仙痛	胆石疝痛			
断裂	断列			
中毒疹	中毒診			
中皮腫	中皮種			
陳旧性	陳旧生	陳旧姓	陳急性	陳旧性
椎間板	椎円板			
椎体骨折	椎対骨折			
痛風	通風	痛憤		
低血圧	低血症			
停留	停溜			
停留精巣	停溜精巣			
鉄欠乏性貧血	金欠乏性貧血			
凍瘡	東瘡			
糖尿病	糖病病	闘病尿		
動脈閉塞	動脈閉塞			
内痔核	内寿核			

表2. データ検証の結果、チェックされた誤字、意味不明傷病名

○誤字データの発生する可能性

1)判読不能な文字が存在する可能性(記載する側、判読する側、双方の問題)

2)読解能力の不足と思われること(判読する側の問題)

3)仮名漢字変換ミス

* いずれにしても、入力者の医学的知識の欠如という要素が著しく関係していると考えられる

正しいと推察される病名表記		様式1傷病名データに存在する誤字と推察される例		
内臓	内藏			
内反手	内半手			
軟産道強靭	難産道強靭症			
肉芽増殖	内芽増殖			
妊娠悪阻	妊娠亞阻			
熱傷	熱症			
熱性痙攣	熱製痙攣			
脳虚血	惱虚血			
脳塞栓	脳寒栓			
脳腫瘍	惱腫瘍			
脳循環	脳縦環			
脳性麻痺	膿性麻痺			
脳動脈瘤	惱動脈瘤			
膿胸	脳胸			
膿瘍疹	膿瘍診			
播種性	藩種性			
破瓜型	破爪型			
敗血症	敗血漿	肺血症		
肺塞栓	肺塞性			
肺線維症	肺織椎省			
肺腺癌	肺線癌			
白内障	白内症			
白疘	白線	白鮮		
半月板	半月版			
汎小葉性	洞小葉性			
非ホジキンリンパ腫	非ホジキン菌リンパ腫			
非ホジキン型悪性リンパ腫	非ホジ筋型悪性リンパ腫			
非破裂性	非破裂製			
微小	徵小			
膝内障	膝内症			
頻脈	瀕脈			
不正性器出血	不整性器出血			
不適合症候群	不適切症候群			
副耳	福耳			
腹圧性	副圧性			
糞線虫症	糞虫症			
閉鎖不全	閉塞不全			
閉塞性	閉塞性			
変形	変型			
便秘症	便症秘			
胞状奇胎	泡状奇胎			
勃起症	勤起症			
慢性C型肝炎	慢性C型管炎			
慢性腎不全	漫性腎不全			
未破裂	末破裂			
未分化胚細胞腫	未分化胚細胞種			
幽門狭窄	幽閉狭窄			
卵管留膿腫	子宮溜膿腫			
卵巢癌	卵单癌			
卵巢囊腫	卵巢脳腫			

表2. データ検証の結果、チェックされた誤字、意味不明傷病名

○誤字データの発生する可能性

1)判読不能な文字が存在する可能性(記載する側、判読する側、双方の問題)

2)読解能力の不足と思われること(判読する側の問題)

3)仮名漢字変換ミス

* いずれにしても、入力者の医学的知識の欠如という要素が著しく関係していると考えられる

正しいと推察される病名表記	様式1傷病名データに存在する誤字と推察される例		
縁内障	保内症		
裂原性	裂原生		
裂孔	烈孔		
裂創	列創		
嚥下	燕下		
弯曲	湾曲		
渗出	浸出		
眩暈	眩軍		
脛骨骨幹部	頸骨骨幹部		
腋臭症	液臭	腋臭掌	
腓骨	俳骨	捺骨	
膀胱瘤	膀胱留		
腔留	腔溜		
腔留血症	腔溜血腫		
脾頭部癌	脾東部癌	脾東部癌	
臍炎	緒炎		
踵骨骨折	踝骨骨折		
峠径	峠経	峠形	

表3. エラー区分

エラーコード	エラー内容	エラーコード	コメント
E001	文字化け	E001	外字が含まれている?
E002	病名とICDとの相違(ICD,病名、両方間違い)	E002	病名とICDとの相違
E003	部位なし、ICDは部位あり(病名に情報が足りない)	E003	意味不明、部位なし、ICDは部位あり
E004	部位明示しているのに、部位不明コードを選択	E004	部位明示しているのに、部位不明コードを選択
E005	誤字(直、…別記)	E005	誤字
E006	すべて英字と記号[英字、]	E006	
E007	一部、英字と記号[略語、]	E007	
E101	"癌""癌疑い"で、Cコード、一部のDコード以外	E101	"癌""癌疑い"で、Cコード、一部のDコード以外
		E201	主病・契機・資源の各病名が同じで、ICDが違う
		E202	Rコードで手術有り
E901	病名にICDコード	E901	
E902	意味不明、不要な文字やシンボル(*、*、↑、?、#、;、#1.、1.、..)	E902	意味不明の文字が含まれている
E903	部位不明?(詳細な記述が必要)	E903	意味不明、部位不明?(詳細な記述が必要)
E904	部位や修飾語のみ(意味不明)	E904	意味不明、部位や修飾語のみ
E905	臨床病名ではない	E905	意味不明、臨床病名ではない
E906	病名が途中で切れている	E906	
E907	ICD分類名を病名としている	E907	意味不明、ICD分類名を病名としている
E908	資源病名が「～術後」	E908	意味不明、資源病名が「～術後」
E909	複数の傷病名要素を含む	E909	複数の傷病名要素を含む
E999	意味不明	E999	意味不明

表4. 特定機能病院および試行的適用病院におけるデータチェックの概要

表4. 特定機能病院および試験的適用病院におけるデータチェックの概要

年月日	会社名	品目	数量		単位		金額		税率		税額				
			数量	単位	数量	単位	数量	単位	税率	税額	税率	税額			
3153	712	374	338		3037	4.3	712		712	1.0	81	0.1			
3239	600	440	3919	42	940	940	940	940	98.0%	91.0	46.1	0.0%			
3240	1439	665	744	48	1061	1439	1439	1439	34.2%	41.6	46.6	0.0%			
3354	2131	1025	1106	5.6	2131	2131	2131	2131	63.1	3164	1.5	46.9	0.0%		
3387	1518	754	765	6.0	1518	1518	1518	1518	2.0	40.4	3044	0.7	46.0	1.1	
3372	1400	368	539	534	7002	4.9	1440	1440	475	32.0%	1548	0.1	48.9	0.1%	
3399	2491	828	861	802	13128	53	2491	2491	1061	42.0%	13131	1.1	48.2	0.3%	
3115	2463	872	828	769	13928	57	2463	2463	915	32.1%	3185	1.3	1397	0.6	
3191	3866	1369	1330	1257	21346	54	3866	3866	238	6.0%	5478	1.4	3733	0.9	
3325	1035	408	426	371	6055	5.0	1203	1203	282	32.5%	1901	1.6	261	0.2	
3834	1965	677	614	614	1005	5.5	1945	1945	747	32.0%	1509	1.5	48.0	0.2%	
4062	1537	805	732	10581	6.9	1537	1537	1037	100.1%	756	3597	2.3	1318	0.9	
4171	2233	1185	1048	12837	57	2233	2233	1028	48.5%	652	3514	1.6	1600	0.7	
4207	1886	651	628	587	8736	4.7	1886	1886	247	13.2%	475	2455	1.3	50.8	0.1%
4321	2578	914	854	808	14302	5.0	2573	2573	204	7.0%	44.8	4232	1.7	333	0.2%
4446	795	261	274	280	3696	4.0	795	795	0.0%	40.4	644	1.2	311	0.4	
4470	490	284	226	1744	3.6	490	490	4	0.0%	40.8	216	0.4	54	0.1	
4519	4407	1570	1475	1382	25087	57	407	407	35	0.0%	40.8	7668	1.7	4143	0.9
4671	632	476	454	4084	44	932	932	61	6.5%	43.8	918	1.0	309	0.3	
4737	4802	1499	1805	1398	14746	3.3	4802	4802	437	8.7%	45.8	719	0.2	48.3	0.1%
4166	1095	568	568	561	10702	1.3	1095	1095	1095	102.5%	2013	1.7	1670	1.1	
4758	4183	1410	1449	1304	23493	5.6	4183	4183	171	41.1%	42.6	7250	1.9	3313	0.8
5197	1872	870	870	608	12020	5.7	1872	1872	271	41.1%	2050	1.8	1710	0.9	
5254	318	145	173	1886	5.0	318	318	82	25.5%	54.3	382	1.2	112	0.5	
5266	447	214	233	2169	4.9	447	447	91	20.0%	51.4	363	1.3	108	0.4	
5386	2783	977	927	879	12827	4.5	2782	2782	570	20.5%	61.4	2111	1.0	898	0.4
5397	3760	1283	1234	1283	1899	4.9	3760	3760	183	4.1%	42.6	6007	1.6	1151	0.3
5410	1060	593	593	608	12020	5.7	1060	1060	447	4.0%	63.2	614	0.9	472	0.1%
5449	1356	1356	8211	61	1356	1354	176	13.0%	47.4	2027	1.8	1484	1.1	48.5	0.2%
5531	2491	842	825	814	23860	5.0	2481	2481	964	22.0%	63.3	2659	1.2	1484	0.6
5619	2002	1139	1164	10020	4.4	2302	2302	42	1.0%	41.3	2177	1.1	595	0.3	
5626	3113	1034	1084	1015	15841	5.1	3113	3113	39	1.3%	41.0	4324	1.4	2139	0.7
5655	244	832	877	835	18688	6.1	2842	2844	1003	32.0%	60.9	5009	1.9	2127	0.8
6003	2417	849	853	853	12490	5.2	2417	2417	41	17.1%	49.8	1434	1.4	1484	0.6
5800	4227	1865	1467	2600	59	4527	4527	248	5.5%	43.3	8109	1.8	4682	1.0	
5843	3844	1307	1398	1259	18841	4.2	3844	3844	1146	28.5%	2630	0.7	873	0.2	
5905	1044	466	578	5162	40	1044	1044	66	6.3%	43.8	1003	1.5	361	0.3	
5985	2044	832	877	835	18688	6.1	2844	2842	2644	1003	32.0%	60.9	5009	1.9	
6051	954	489	485	465	151	488	488	1481	4.3	1451	4.3	4.3%	40.5	888	0.7
6241	3339	1044	1181	1114	18178	5.7	3339	3339	61	20.5%	41.4	6130	1.8	539	0.1%
6443	3443	1194	1201	1146	21342	6.0	3553	3543	180	5.1%	8244	2.3	48.9	0.1%	
6471	3238	1086	1126	18602	5.8	3238	3238	938	28.0%	58.0	5204	1.6	2948	0.9	
6496	3221	1069	1161	1011	16171	4.9	3271	3271	465	14.2%	48.1	3049	1.2	1943	0.6
6501	954	489	485	465	14	954	954	1231	12.8%	47.3	1006	1.1	461	0.0%	

表4. 特定機能病院におけるデータチャージの概要

年月		年半分合算各項名簿																			
年	月	合計	生産	販賣	貯蔵	出庫	入庫	貯蔵	出庫	貯蔵	出庫	貯蔵	出庫								
0528	833	389	294	2484	4.1	603	603	120	19.8%	511	486	0.8	69	0.1	1	48.1	0.0%	46.0	1		
6712	1997	619	647	641	3177	6.7	1987	1987	916	46.5%	658	3894	2.0	2597	1.3	104	68.4	0.8%	74.3	1	
0759	2273	1175	1098	11129	4.9	2273	2273	31	1.4%	411	3220	1.6	559	0.2	12	48.5	0.1%	48.3	1		
6787	2268	644	703	678	11495	5.7	2026	2026	1070	52.6%	68.8	2842	1.4	1505	0.7	3	48.6	0.0%	48.4	1	
8811	1523	1623	1448	24706	5.4	4569	4569	30	0.7%	407	7254	1.6	719	0.8	3	48.5	0.0%	48.3	1		
8913	1414	882	732	6811	4.0	1414	1414	252	17.8%	50.0	914	0.6	233	0.1	4	48.7	0.1%	47.1	1		
6957	5333	1823	1887	1854	30597	5.7	3353	3353	2039	98.1%	60.9	929	1.7	330	0.6	62	87.1	0.2%	50.9	1	
7032	2458	838	821	798	14295	5.8	2458	2458	1012	43.6%	63.9	3888	1.6	1861	0.8	11	48.2	0.1%	47.4	1	
7081	1799	612	636	551	9032	5.4	1788	1788	19	1.1%	40.9	3160	1.6	1056	0.6	4	48.7	0.0%	48.0	1	
7158	147	142	131	1781	4.3	417	417	5	1.2%	41.0	388	0.9	137	0.3	3	48.5	0.2%	60.9	1		
7205	3205	1584	1410	1072	1829	6.0	3226	3226	32	1.0%	40.9	5247	1.6	321	1.0	22	86.6	0.1%	49.0	1	
7327	3437	1185	1153	1098	1611	4.7	2437	2437	38	1.1%	41.0	4440	1.3	1322	0.4	67	80.4	0.4%	60.3	2	
7497	1284	619	615	6512	4.3	1294	1294	150	1.6%	46.8	1538	1.0	142	0.1	3	48.5	0.1%	48.5	1		
7569	1928	620	683	615	6684	4.9	1928	1928	620	32.2%	57.7	2513	1.3	581	0.3	25	51.3	0.3%	54.6	1	
7786	2986	888	1128	980	3168	4.4	2886	2886	951	31.7%	67.5	2796	0.9	433	0.1	34	53.2	0.3%	54.3	1	
7828	731	787	711	3557	4.4	787	787	1	0.1%	40.4	998	1.3	98	0.1	4	48.7	0.1%	49.0	1		
7842	1354	434	493	457	5889	4.4	1354	1354	51	3.8%	42.4	1056	0.8	950	0.5	3	48.5	0.1%	48.4	1	
7876	1505	714	791	7804	5.1	1505	1505	10	0.7%	40.7	2115	1.4	844	0.6	6	48.8	0.1%	48.9	1		
7892	2455	884	817	774	12101	4.9	2455	2455	5	0.2%	40.6	3972	1.6	756	0.3	8	47.8	0.1%	47.0	2	
7898	812	184	221	2844	4.8	612	612	612	14	2.3%	41.8	194	1.3	390	0.5	2	46.3	0.1%	47.0	2	
7988	2074	702	724	648	1389	6.5	2074	2074	630	30.4%	66.8	1595	1.4	1522	0.7	17	48.6	0.1%	50.1	4	
9043	3205	1881	1989	1935	15135	4.7	3204	3204	9	0.7%	40.6	3966	1.1	1850	0.6	18	48.5	0.1%	48.4	1	
8100	4189	1418	1442	13076	1983	4.6	4168	4168	4	0.1%	40.4	5880	1.4	572	0.1	8	47.6	0.0%	46.0	5	
8102	1726	558	591	5693	4.5	1128	1129	27	2.4%	41.7	1174	1.0	805	0.4	3	48.5	0.1%	48.7	3		
8190	1585	778	807	9112	61	1585	1585	6173	53.4%	61.3	2705	1.7	1627	1.0	12	48.5	0.1%	48.1	1		
8322	3045	1011	1073	981	17462	5.7	3045	3045	57	1.8%	41.4	5182	1.7	3088	1.0	27	51.7	0.2%	50.3	0	
8419	3008	974	1029	1005	17935	5.8	3008	3008	550	18.3%	60.2	5091	1.7	2705	1.0	7	51.7	0.2%	50.3	1	
8443	1821	373	419	400	4748	4.0	1182	1182	19	1.6%	41.2	1035	0.9	118	0.1	11	48.2	0.0%	48.0	6	
8476	3005	971	1132	1002	16127	5.0	3005	3005	641	21.3%	61.9	3186	1.1	2285	0.8	34	53.2	0.2%	53.0	1	
8583	1848	653	631	584	8032	4.3	949	949	1848	81	4.4%	42.7	2020	1.1	392	0.2	8	47.6	0.1%	48.2	2
8761	887	327	380	50	687	687	108	15.8%	48.8	108	1.6	143	0.2	3	48.5	0.1%	47.8	1			
8830	1280	1288	22031	5.8	3828	3828	743	3.5%	42.3	2536	1.2	617	2233	0.6	3	48.5	0.0%	48.8	3		
9176	2069	759	820	9804	4.8	2068	2068	73	3.5%	42.3	2536	1.2	691	0.1	3	48.5	0.0%	48.6	2		
9214	2223	847	848	830	14158	5.6	2525	2525	330	13.1%	47.4	2452	1.7	2001	0.8	7	47.4	0.1%	48.3	3	
9241	1894	613	688	593	9279	4.9	1894	1894	792	11.8%	63.0	2021	1.1	784	0.4	8	47.2	0.1%	48.9	1	
9242	2079	746	869	864	14491	7.0	2079	2079	2079	1292	73.9	4353	2.0	2709	1.3	19	80.0	0.1%	49.4	1	
9280	1166	587	687	4887	4.2	1166	1166	255	2.8%	52.2	981	0.8	133	0.1	2	48.3	0.0%	48.6	1		
9317	1002	1299	993	7006	5.8	3054	3054	1	0.1%	40.4	2004	2.0	2410	0.8	4	48.7	0.0%	48.3	1		
9327	805	199	780	49	1804	1804	2	0.1%	40.4	1032	0.8	2	48.3	0.0%	48.4	1	1	1	2		
9327	5893	2092	1889	24314	51	5893	5893	110	41.4	5235	0.9	29	52.1	0.2%	53.1	1	10	3	2		
9337	1972	256	898	818	10023	5.5	1972	1972	1014	51.4%	68.2	2468	1.3	157	0.8	18	49.3	0.1%	50.0	1	
9383	428	141	145	150	1841	4.2	438	438	31	7.1%	44.2	461	1.1	40	0.1	3	48.5	0.2%	50.8	1	
9383	322	175	147	1284	4.0	322	322	322	0	0.0%	40.4	318	1.0	2	0	0	0	0.0%	45.0	44.4	

表4. 特定機能病院および試行的適用病院におけるデータチェックの概要

品種	合計	平均	最高	最低	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月											
					数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量								
合計	324538	116523	86737	1864420	5.1	324531	324255	324343	87374	11.7	453972	1.4	179355	0.4	2701	0.25	29	298	45	217	205	91068	611	2	30	34	73	4						
平均	230116	63831	65721	90643	5.0	230114	63831	65721	230112	608326	1.95	321036	1.3	127131	0.5	16156	0.19	530	0.19	360	4.63	3.83	1.37	3.08	1.11	2	158	4.25	7.3	1.33	1	1.5	2.4	
中央質	2068	805	798	850	4.9	2068	2068	2068	186	11.27	46.5	2913	1.3	1052	0.5	111	48.2	0.18	5	3	1	2	3	1	1	3	1	1	1	1.5	1	1		
最大質	5883	2032	1973	1888	34830	72	5883	5883	5883	3848	15.36	86.4	11784	2.5	6780	1.4	516	157.9	2.85	1505	9	28	5	23	496	26	2	7	22	36	2	1	2	17
最小質	243	141	142	131	805	9.1	243	243	243	0	0.04	40.4	61	0	0	0	45.8	0.06	44.4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
被選個数	1324621	422.06	417.56	368.06	6961345	0.8	1294.99	1394.64	1294.88	496403	15.5%	2223.38	0.5	1124.69	0.3	46217	0.3%	254	477	0.81	489	23.9	1.17	531	5.31	0	1.36	6.91	10.4	0.47	0	0.5	3.51	